

# データマネジメント態勢構築支援 サービス

PwCあらた有限責任監査法人



## 「データ」にまつわるお悩みは、当法人が解決します。

データに基づく経営判断を行うのであれば、データを分析に耐える状態で整備する必要があります。そのために、「データマネジメント」という方法論を参考に、解決を図ってみるのはいかがでしょうか。

データマネジメントとは、一般的に「データをビジネスに活かすことができる状態に継続して維持、進化させていくための組織的な活動」を意味します。

さまざまな団体がデータマネジメントのフレームワークを公表しています。しかし、データマネジメントを組織に適合させるにあたっては、これらのフレームワークを参考にしながらも、組織内の関係者が「理解しやすい形」で定義し、現実の業務プロセス／オペレーションと「密接に関連」させて導入することが非常に重要です。

データは「21世紀の石油」と言われています。

デジタル化の進展により、各国では、多様なビジネスが日々誕生し、生産性向上の改革も加速度的に進んでいます。

日本企業においてもデジタルイノベーションへの対応がビジネスの最優先課題として認識されていますが、いくら最新のツールやテクノロジーを導入しても、中身のデータそのものがビジネスの目的に耐えられる状態になれば、期待した効果は得られません。

当法人は、「データマネジメント」態勢の構築を、企画立案から導入、継続的な運用、高度化まで含め、一貫して支援いたします。



伊藤 嘉昭

PwCあらた有限責任監査法人  
パートナー

## 「データにまつわる課題」はDXの推進を「阻害」しています。

多くの企業はコロナ禍で加速したデジタルトランスフォーメーション(DX)に関する取り組み以前から、変革のためのプログラムを数多く実行しています。

特に、近年における変革のためのプログラムは、DXに関連するものが大半を占めていると、私たちは認識しています。

DXに関する取り組みは、新しいビジネスの創出、既存ビジネスの高度化、法規制対応など、さまざまな目的に関連しますが、その推進過程のあらゆる局面において、データにまつわる課題が存在しています。

以下は、企業の変革プログラムに関連するDX、そしてデータにまつわる課題の一例です。

### 変革プログラムにおけるDXの例

#### 新規ビジネス創出

- ビッグデータやAI(人工知能)を活用した、データドリブン経営への変革
- 合併や買収によるIT基盤の統合・刷新
- SaaS、プラットフォーム型ビジネスへの参入

#### 既存ビジネス高度化

- デジタルツール(RPA、BI等)を活用した業務プロセス自動化、内部統制効率化による業務時間とコストの削減
- Data Analyticsを活用した顧客行動分析の精緻化による、デジタルマーケティングの実現

#### 法規制対応

- 金融規制対応※に向けた経営情報システム構築と報告プロセス自動化  
※ BCBS239や金融犯罪(AML/CFT)対応
- ESG開示等、非財務情報の重要性向上に伴う経営管理範囲拡大に対応したデータ整備と統合管理

### データにまつわる課題の例

#### データを管理する態勢がない

- ✓ データに対する責任の所在が曖昧で、社内の問い合わせ先が分からない
- ✓ データの分析から新たなインサイトを得るなどの、期待した利活用が進まない

#### データアーキテクチャが整理されていない

- ✓ ビジネス活動に必要なデータを整理できず、既存のシステムは新たなビジネス要求に適應できない
- ✓ プロジェクトごとにIT基盤が整備され、類似したデータがさまざまなIT基盤で存在している

#### データ品質が低く、安心して利用できない

- ✓ データがどのような品質であるのか判然としない
- ✓ 継続的にデータの品質を評価する枠組みも存在せず、データの信頼性が分からない

#### データの意味や出典が分からない

- ✓ データの意味が明確ではなく、社内の調査に多大な時間がかかる
- ✓ データの出典を調べたくても、どこの店舗／部署／システムで入力されたものか分からない

# 課題解決を実現するサービスのご紹介

当法人では、個々の企業の置かれている状況に応じて、データにまつわるさまざまな課題を解決するサービスを提供しています。

## 予備調査／ 導入検討フェーズ

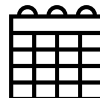
### クイック診断サービス

通常、企業におけるデータにまつわる課題は多岐にわたります。当法人ではプロジェクト計画の立案に先立って、「クイック診断」を実施することにより、**優先的に取り組むべき施策の絞り込み**を行います。



### プロジェクト計画立案支援

優先的に取り組むべき施策の絞り込み結果をもとに、早期かつ継続的にビジネス価値を生み出す「DevOps」(開発と運用の一体化)実現のため、プロジェクト計画策定を支援します。

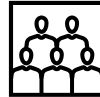


## 導入フェーズ

※以下は取り組みの一例です。詳細は次のスライドをご覧ください。

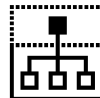
### データマネジメント態勢の構築

データマネジメントを実効的に運用するため、組織態勢の構築支援を行います。



### データアーキテクチャの整理

ビジネスに必要なデータを明確にした上で、ビジネスとITシステムを再整理します。また、さまざまなビジネス要求に効率的に応えるため、標準的なデータモデル設計やデータクソノミの整理を支援します。



### データ品質の向上・測定

データセットは常に完全な状態では存在しません。データの品質を継続的に評価するプログラムの導入を支援します。



### メタデータ管理の実現

データの所在と定義を組織内で共有するために、辞書やカタログの作成を支援します。



## 継続運用／ 高度化フェーズ

### 有効性評価

導入したデータマネジメントのフレームワークが当初意図したとおりに機能しているか、継続的に運用されているかについて、定期的に評価を行い、改善すべき事項を明確にします。



### 継続的な高度化

時代とともにテクノロジーは進展し、データの重要性も増していきます。それに合わせてデータマネジメント態勢も継続的に高度化していく必要があります。新しい試みや取り組みにおけるデータにまつわる課題・挑戦を包括的に支援します。



# 導入フェーズにおけるサービスの詳細

例えば、以下のような点でお悩みがありましたら、一度お問い合わせください。

## 1. データマネジメント態勢の構築

データマネジメント態勢の構築にあたっては、基本的な方針(ポリシー、フレームワーク)を定め、必要な活動とそれを実行する組織・人事を決定するとともに、基本方針が継続的に遵守される態勢を整備する必要があります。  
また、長期的活動として、データ文化を醸成し組織内に浸透させるための施策を実施します。

### <主な支援内容>

- CDO(Chief Data Officer)の設置と役割の整理
- データ管理部署の設置と役割の整理
- データマネジメントポリシーの策定支援
- データマネジメント人材育成に向けた各種トレーニングの実施
- データ文化の醸成活動の企画および実行、効果測定支援
- データマネジメント態勢の継続的な有効性の検証支援

## 2. データアーキテクチャの整理

多くの企業では、業務単位でバラバラに構築してきたITシステムの「サイロ化」問題により、データの統合的な集計・分析が困難となっています。同時に、IT予算の多くが既存システム維持のために使われ、新たなIT投資への足枷ともなっています。  
ビジネスとITシステムをデータの軸に再整理し、さまざまなビジネス要求に効率的に応えるための、標準的データモデルの策定を支援します。

### <主な支援内容>

- 統合的IT基盤(MIS/DWH)の構築の企画および実行支援
- データアーキテクチャの整理
- 各種ITシステム構築における標準的データモデルの導入支援
- マスターデータ管理、リファレンスデータ管理の導入支援
- ビッグデータ基盤/データレイクの構築および実行支援
- データ仮想化の導入および実行支援

## 3. データ品質管理態勢の構築

データ品質とは、データを正しく利用するために、個々のデータが保持すべき要件のことです。  
データ品質向上のためには、データ品質をビジネス要求に合う形で定義し、品質評価を行い、データ品質に問題が発生した場合には根本原因を把握して改善するというサイクルを、継続して行う必要があります。

### <主な支援内容>

- ビジネス要求に基づくデータ品質の定義(例:正確性、網羅性等)
- 重要データ項目(Critical Data Element;CDE)の特定と整理
- データ品質水準の決定、対象範囲特定、レベル設定
- データ品質モニタリングプログラムの導入支援
- データ品質改善活動、真因調査と改善計画の実行支援

## 4. メタデータ管理

メタデータとは、「データに関するデータ」を指します。  
組織にあるデータを広く共有するにあたり、データの意味や出典を明確にし、誰でも安心して利用できるようにすることが、メタデータ管理の目的です。  
また、近年注目されているデータ仮想化技術の導入にあたって、メタデータ管理は重要となります。

### <主な支援内容>

- データ辞書/データカタログの構築支援
- ビジネスユーザー向けメタデータの構築支援
- データリネージの解析支援
- メタデータ管理ツールの導入支援

## 本サービスにおける当法人の強み

データにまつわる課題はそれ単独で存在するものではなく、ビジネスやITシステムと密接に関連しています。従って、単にデータマネジメントに精通しているだけでは、前述のデータにまつわる課題の解決は困難です。

「データマネジメントの方法論」に加えて、「業界×業務に対する深い理解」、「デジタル(テクノロジー、ITシステム)に関する知見(最新の動向と現実的な活用)」、「課題解決の経験値」が組み合わさることで、データにまつわる課題を真に解決していくことが可能となると、私たちは考えています。

### データマネジメントの方法論

バックグラウンドの異なる多くの企業に対して、データマネジメントに関する支援を行っており、多数の知見を有しています。

### 業界×業務に対する深い理解

会計、内部統制、リスク管理等、各種業界においてアドバイザリー業務に従事する専門家が多数在籍しています。

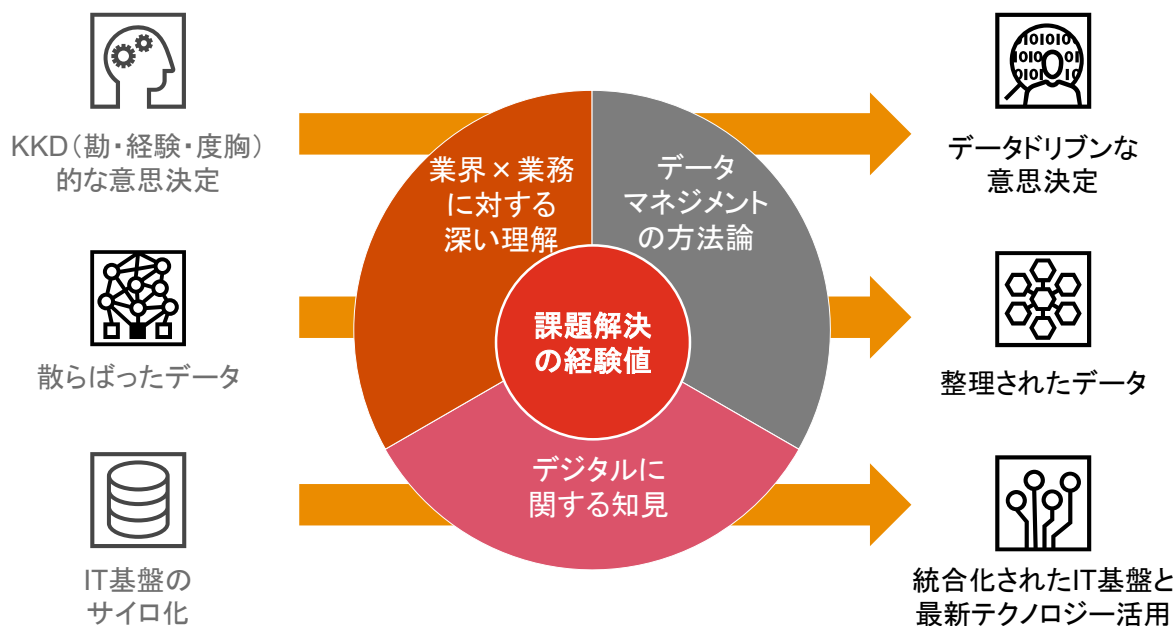
### デジタルに関する知見

最新のデジタル動向に知見を有する者が多数在籍し、多くのクライアントに対して最新テクノロジー導入に向けた支援を行っています。

### 課題解決の経験値

グローバルネットワークと連携し、クライアントの直面する複雑で困難な経営課題の解決に携わってきた豊富な経験を有しています。

## 当法人の強みを活かし、データにまつわる課題を解決いたします。



まずはお気軽にお問い合わせください。

データのビジネスへの活用にお困りの際は、一度お話を聞かせください。



データマネジメント PwC

検索

### 担当パートナー



伊藤 嘉昭

PwCあらた有限責任監査法人



井嶋 克

PwCあらた有限責任監査法人



大辻 竜太郎

PwCあらた有限責任監査法人

#### PwCあらた有限責任監査法人

〒100-0004 東京都千代田区大手町1丁目1-1

大手町パークビルディング

TEL: 03-6212-6800(代表)

[www.pwc.com/jp](http://www.pwc.com/jp)

#### PwCあらた有限責任監査法人のご紹介

PwCあらた有限責任監査法人は、PwCグローバルネットワークのメンバーファームとしてデジタル社会に信頼を築くリーディングファームとなることをビジョンとしています。世界で長年にわたる監査実績を持つPwCネットワークの監査手法と最新技術により世界水準の高品質な監査業務を提供するとともに、その知見を活用した会計、内部統制、ガバナンス、サイバーセキュリティ、規制対応、デジタル化対応、株式公開など幅広い分野に関する助言(ブローダーアシュアランスサービス)を通じて社会の重要な課題解決を支援しています。